



http://www.daitoken.com/tokyo/
第 234 号 2016 (平成 28) 年 10 月発行

目 次

1. 2016/2017 年度第 1 回地域グループ例会のお知らせ	1
2. 東京地域グループニュースレター電子化切替照会	1
3. 2016/2017 年度地域グループ総会講演記録： 講演会「国立国会図書館サーチの現状と展望」に参加して / 井上 知永理 (東京大学工学・情報理工学図書館)	2
4. 2016/2017 年度東京地域グループ総会記録	3
5. 運営委員による自己紹介と抱負	3
6. 2016/2017 年度第 1 回 (9 月) 東京地域グループ運営委員会記録	4

2016/2017 年度第 1 回地域グループ例会のお知らせ

見学会：千葉大学アカデミック・リンク・センター (2016/2017 年度第 1 回 東京地域グループ例会)
日 時：2016 年 11 月 19 日 (土) 15:30～17:00 (予定) ※終了後、懇親会を予定しています。
場 所：千葉大学アカデミック・リンク・センター
(最寄駅：JR 総武線西千葉駅または京成千葉線みどり台駅) http://alc.chiba-u.jp/contact_access.html
集 合：15:15 に JR 西千葉駅で担当がお待ちします。15:30 までに直接会場に向かわれても構いません。
参加方法：大学図書館問題研究会会員 (先着 20 名) の参加に限定させていただきます。
※見学会の参加費は無料。参加ご希望の方は、懇親会の参加可否も添えてお申し込みください。
内容 (予定)：図書館内見学
申込先：右の申込フォーム (Google フォーム) からお申し込みください。 <https://goo.gl/GfUbcs>
【申込〆切：11 月 12 日 (土)】

電子化ニュースレター切替照会

このたび運営効率化のため、本紙の電子化切替を希望する方を募集することとなりました。

- 電子化切替をご希望の方【要申込】：紙版の送付を停止します。ニュースレターを発行する都度、東京地域グループ ML でご連絡しますので、電子版をご覧ください。電子版は東京地域グループウェブサイトで公開します。 ※なお、ご希望の場合は紙版送付の再開ができますので、その旨ご連絡ください。
- 変更無しの方【申込不要】：従来通り、紙版のニュースレターをお届けします。

【電子化切替の申込方法】

- 1) 氏名を明記の上、東京地域グループ運営委員会 (tokyo@daitoken.com) にメールにてお申し込みください。件名は「ニュースレター電子化切替」としてください。
- 2) 東京地域グループ ML に未登録の方はウェブサイト <http://daitoken.com/tokyo/join.html#ml> よりメールアドレスを登録してください。

2016/2017 年度地域グループ総会講演記録

講演会「国立国会図書館サーチの現状と展望」に参加して

井上 知永理（東京大学工学・情報理工学図書館）

8月6日（土）、東京地域グループの総会に先立ち、国立国会図書館の川瀬直人さんによる講演会「国立国会図書館サーチの現状と展望」が開催されました。今回は、この講演会の内容や、聴講した感想などをお伝えしたいと思います。

国立国会図書館サーチ（以下、NDLサーチ）は、おそらく、皆さん一度はお使いになったことがあるのではないのでしょうか。私は、昨年度まで担当していた講習会の中で「NDLサーチは、国立国会図書館の蔵書はもちろん、全国の公共図書館等が所蔵する資料（デジタル資料も含む！）を検索することができますよ」と学生さん達に説明していたことを思い出します。

さて、このようにNDLサーチについて、おおまかには理解しているものの、進化を続けているこのデータベースの「現状」と将来の「展望」については、今回のご講演を聴いて初めて知ることがたくさんありました。

まず、NDLサーチの「現状」について、連携先は増え続け、現在、他機関の検索対象数は約100データベース、メタデータ件数でいうと約1.2億件（横断検索対象分含む）ということでした。他機関との連携がここまで進んでいるとは驚きです。他にも、今後、NDL東日本大震災アーカイブのコンテンツをNDLデジタルコレクションへ、そのメタデータをNDLサーチのシステム上へ移行する計画もあるそうです。

次に、「展望」について、一つ目は、更なる連携先拡張によるメタデータの集約、二つ目は、APIによるメタデータの流通を目指しているとのこと。前者については、昨年4月に「国立国会図書館サーチ連携拡張に係る実施計画」が策定されました。また、今年の5月に知的財産戦略本部が取りまとめた「知的財産推進計画2016」の中でも、分野横断型の統合ポータル構築のために、NDLサーチと各分野とが、メタデータレベルでのアーカイブ連携を進めることが謳われています。二つ目のAPIによるメタデータの流通については、昨年度、NDLサーチの検索数の86%がAPIの利用だったそうです。「国立国会図書館サーチリンク集」からも、NDLサーチが提供するAPIを利用したシステムやサイトの一例を見ることができます。

今回、この紙面では、ご講演の内容を全てお伝えすることができず、とても残念です。「NDLサーチについてもっと知りたい」、「日本のデジタルアーカイブの未来が気になる」という方は、今年の図書館総展に参加してみたいはいかがでしょうか。

日時：11月10日（木） 13:00～14:30 場所：図書館総合展@パシフィコ横浜

我が国におけるデジタルアーカイブ連携の未来：国立国会図書館サーチとアグリゲーターの視点から
（仮）

NDLサーチについて知るということは、単に便利な検索システムを理解したというだけでなく、日本のデジタルアーカイブの未来を考えることにも繋がるのだと、今更ながら気が付きました。主に学術情報を収録する機関リポジトリとは異なり、NDLサーチの収録コンテンツは「学術情報に限らない」とのこと。「『知』のアクセスポイント」としての役割を果たすため、今後も進化を続けていくNDLサーチの動向に、これからも目が離せませんね。

最後に、貴重なお話を聴かせてくださった川瀬直人さんに心より御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

（いのうえ ちえり / 東京大学工学・情報理工学図書館 / 2016年9月1日提出）

2016/2017 年度東京地域グループ総会記録

1. 開催日時 2016年8月6日(土) 15:30-16:50
 2. 開催場所 筑波大学東京キャンパス
 3. 出席者(敬称略/五十音順) 青山, 井上, 上村, 川瀬, 立原, 塚原, 呑海, 南雲, 西脇, 野寄, 松原, 山口, 山谷, 米倉
 4. 配布資料
大学図書館問題研究会東京地域グループ2016/2017年度総会議案(事前配布)
2015/2016年度決算案・2016/2017年度予算案
2015/2016年度 会計監査報告書
 5. 議事進行 青山, 記録 野寄
 6. 議事
 - A. 審議事項
山口 友里子(やまぐち ゆりこ, 一橋大学) ※全国委員
 - 1) 第1号議案 活動総括, 決算報告・会計監査報告
担当委員より, 資料1に基づき2015/2016年度(2015年7月~2016年6月)の活動総括について報告があり, 承認された。担当委員より, 資料2に基づき2015/2016年度決算について報告があり, 承認された。会計監査より, 資料3に基づき2015/2016年度会計監査について報告があり, 承認された。
山口 友里子(やまぐち ゆりこ, 一橋大学) ※全国委員
また, オブザーバーの推薦について, 以下の通り承認された。
上野 友稔(うえの ともき, 電気通信大学)
江沢 美保(えざわ みほ, 一橋大学)
呑海 沙織(どんかい さおり, 筑波大学)
西脇 亜由子(にしわき あゆこ, 明治大学)
米倉 和枝(よねくら かずえ, 東京大学)
なお, 今後のオブザーバーの選出, 増員については運営委員会に一任することとなった。
 - 2) 第2号議案 活動方針, 予算案, 地域グループ運営委員会
松原 2015/2016年度東京支部長より, 資料1に基づき2016/2017年度(2016年7月~2017年6月)の活動方針について説明があり, 承認された。松原 2015/2016年度東京支部長より, 資料2に基づき2016/2017年度予算案について説明があり, 承認された。
4) その他
地域グループ代表および新運営委員の挨拶と, 今後の東京地域グループの活動について, 意見交換が行われた。
話題: 地域グループ例会等のイベント実施時期および広報のタイミングについて
 - B. 報告事項
特になし
- 2016/2017年度の地域グループ運営委員, 地域グループ代表および全国委員について, 以下の通り承認された。
- 青山 史絵(あおやま ふみえ, 東洋英和女学院大学)
- 井上 知永理(いのうえ ちえり, 東京大学)
- 上村 順一(うえむら じゅんいち, 国立情報学研究所)
- 立原 ゆり(たちばら ゆり, 文部科学省)
- 野寄 恵(のざき めぐみ, 東京海洋大学)
- 松原 恵(まつばら めぐみ, 東京大学) ※地域グループ代表
- 以上

運営委員による自己紹介と抱負

今年度の代表と新規委員による自己紹介・抱負は以下のとおりです。その他の運営委員・オブザーバーについては p.3 2016/2017 年度地域グループ総会記録をご覧ください。

◆松原 恵（代表）

今年度、東京地域グループの代表をさせていただくことになりました。

皆様のご助力により、現在東京地域グループは安定した活動ができていますので、今年はさらに発展の年になることを願っています。運営の見える化を進め、活動に参加しやすい雰囲気を作っていけたらと思います。普段の職場では会えない人、聞けない話、思いつかないアイデア、そういったものに会える場だと思っておりますので、お気軽に地域グループの活動にご参加ください。ご意見やご提案もお待ちしています！今後ともどうぞよろしく願いいたします。

◆井上 知永理

皆さま、はじめまして。今期から東京地域グループの運営委員を務めます、井上と申します。実は、大学図書館問題研究会に入会したのも今年の7月で、まだまだ勉強中の身ではありますが、「広報」と「研究企画」（例会など）のお手伝いをさせていただくこととなりました。今は、他の運営委員の皆さんの足を引っ張るだけの存在ですが、ゆくゆくは会員の皆さまの情報共有、調査・研究、問題解決のお役に立てれば幸いに存じます。何かお気づきのことがあれば、いつでもお知らせください。どうぞよろしく願いいたします。

2016/2017 年度第 1 回（9 月）東京地域グループ運営委員会記録

紙面の都合上、議事のみ掲載いたします。議事内容の詳細は東京地域グループウェブサイトをご覧ください。

⇒ <http://www.daitoken.com/tokyo/operation.html#committee>

2016/2017 年度第 1 回 大学図書館問題研究会 東京地域グループ運営委員会 議事要旨

1. 日時: 2016 年 9 月 2 日(金)19:00-20:50
2. 場所: 東洋英和女学院六本木大学院棟
3. 出席者(五十音順/敬称略): 青山史絵(記録), 井上知永理, 上村順一, 立原ゆり, 野寄恵, 松原恵, 山口友里子, オブザーバー: 米倉和枝
4. 配布資料:

東京地域グループ 2016/2017 運営委員会名簿
東京地域グループ 2015/2016 活動概要・2016/2017 活動方針

5. 議事:

A. 審議事項

1. 今年度担当割り振り

2. 運営委員会の開催スケジュール・場所・ファイル共有

3. 年間スケジュール

4. 東京地域グループニュースレター234号について

5. 東京地域グループ第1回例会について

6. 東京地域グループ ML の活用と twitter について

7. その他: 今年度の会計監査人について

B. 報告事項

1. 全国大会報告
2. その他 特になし

『d-tokyo: 大学図書館問題研究会東京地域グループニュースレター』

第 234 号, 2016 年 10 月

事務局: 〒272-0021 千葉県市川市八幡 3-14-27-202 上村順一 気付

東京地域グループメールアドレス: tokyo@daitoken.com

東京地域グループ運営委員会編集担当: 井上知永理, 立原ゆり, 野寄恵